

# 未来ファンドおうみ通信

NO.1

2015年9月1日発行  
淡海ネットワークセンター

<http://www.ohmi-net.com/>

## “志のお金”を上手に使って 心温まる地域活動

— 未来ファンドおうみ助成事業 2015 採択団体の活動が実施されています —

淡海ネットワークセンターでは、個人や団体、企業などからお寄せいただいた寄付を市民活動団体への助成事業につなげています。

2015年度は、以下の助成事業が実施されています。

おうみ NPO 活動基金助成	
2 団体	1,000,000 円
びわこ市民活動応援基金助成	
6 団体	1,393,000 円
びわ湖の日基金助成	
1 団体	280,000 円
積水化成品基金助成	
1 団体	200,000 円
笑顔あふれるコープしが基金助成	
4 団体	300,000 円
ナカザワ N E O フレンドシップ基金助成	
6 団体	415,000 円
<hr/>	
合計 20 団体	3,588,000 円

これらの団体では、猛暑にも負けない活動が活発におこなわれてきました。今回は、そのうちの6団体を紹介します。



## 2015 採択団体の活動

ナカザワ NEO フレンドシップ基金助成

### NPO 法人 Links

外国にルーツをもつ子どもたちは、学習意欲はあるのに日本語の理解が不十分なことによって、日本人とのコミュニケーションが取りづらく、授業がわからない、テストの設問に回答できないなどの悩みを抱えています。この課題を解決するために、学校等と連携しながら、その要請に応じて授業や学習会等で支援ができるボランティア人材の養成と、人材バンクの構築をおこなっています。

7月～8月にかけて、第1期研修会(3回)がおこなわれました。「外国にルーツをもつ子どもの現状と課題—中学校での支援活動から感じたこと」(7/12)、「どのように子どもを応援すればよいか」(8/8)、「『外国にルーツをもつ子ども』だった若者の声を聞く」(8/29)です。さらに、10月～11月にも、第2期研修会(3回)が予定されています。そして、7月と11月に、研修会への参加者を含むボランティア人材の募集と人材バンク登録を呼びかけていきます。

びわ湖の日基金助成

### びわ湖りす森倶楽部

びわ湖の水源の森で生息する動物たちの生活を支えるために、森林病害虫に負けない滋賀県産の抵抗性アカマツの育苗と育成を地域の人々と取り組んでいます。現在、600本の苗木を育苗しています。さらに、

育苗畑の残った場所で、近江野菜の生産もおこなっています。

森や畑での活動は、子ども連れで参加でき、楽しみながら森や土とふれることができます。「土づくりと苗作り・夏野菜の植え付け」(5/23)、「滋賀の地大豆ミズクグリの種まきと夏野菜の収穫」(7/4)、「夏の昆虫観察と滋賀初:松食い虫の捕獲調査」(7/12)などがおこなわれてきました。今後は、9月に「万木かぶらの種まき」、11月に「秋の大収穫祭と冬の準備」、3月に「抵抗性アカマツの苗木を森へ」が計画されています。

びわこ市民活動応援基金助成

### 湖西いきいきネットワーク

急速に高齢化していくニュータウンで、小学校区の住民が相互に助け合い、心身共に健康を保持して最後まで地域で暮らしていくことの一助となる活動を展開しています。

7月5日(日)には、「迎え撃とう、老化!—認知症予防の実践とその地域づくり—」の講演会がひらかれ、277人の参加がありました。講師は、国立長寿医療研究センターの牧迫飛雄馬氏で、コグニサイズという実習も取り入れられました。

また、地元自治会を対象に、毎週土曜日に認知症予防教室も開催しています。さらに、地域見守り隊の方との飲みニケーションをおこなうなど、地域住民と連携をはかりながら、事業をすすめています。

## 2015 採択団体の活動

笑顔あふれるコープしが基金助成

### NPO 法人 あめんど

子どもとその保護者の安心のために活動してきた中で、「食」に関して興味や心配を持つ方が多くおられました。そこで、子どもには「食べ物」について知ってもらい、食べたり、作ったりしながら楽しく自信をつける体験の場を提供する『小さな子どものための食育事業』に取り組んでいます。

これまでに、「ジャガイモ植えつけ体験」(4/13 対象：未就学児と保護者)、「エプロンつけてやってみよう」(6/23 対象：未就学児と保護者)、「アレルギーについて考える」(7/7 対象：保護者〈託児あり〉)がおこなわれました。

今後は、9月に「苦手な物を食べてみよう ープチ収穫体験と調理」(対象：未就学児と保護者)、11月に「こねこねでつくる簡単中華」(対象：未就学児と保護者)、冬休みに「キャラ弁自分でつくってみよう」(対象：小学生)、「好き嫌いについて考える」(対象：保護者〈託児あり〉)が計画されています。

びわ湖市民活動応援基金助成

### NPO 法人 KENA

キッズイベントを通して、地元の子どもたちと滋賀県立大学生および留学生との交流をはかり、滋賀県においての国際教育の活性化をめざして活動しています。

「TANABATA FESTIVAL2015」(6/21)は明日都浜大津で開催されました。参加した

のは大津市日吉台の子どもたち、滋賀県立大学で日本文化などを学ぶ留学生、そして橋渡し役となるサポーターのみなさんです。子どもたちは、留学生やサポーターに助けをもらいながら英語で短冊に願い事を書きました。日本の夏の風物詩 TANABATA を題材にしたミニ国際交流でした。

そして、7/23～7/25にはサマーキャンプが多賀の高取山でおこなわれました。10月にはハロウィンパーティーをテーマとする交流会が予定されています。

おうみ NPO 活動基金助成

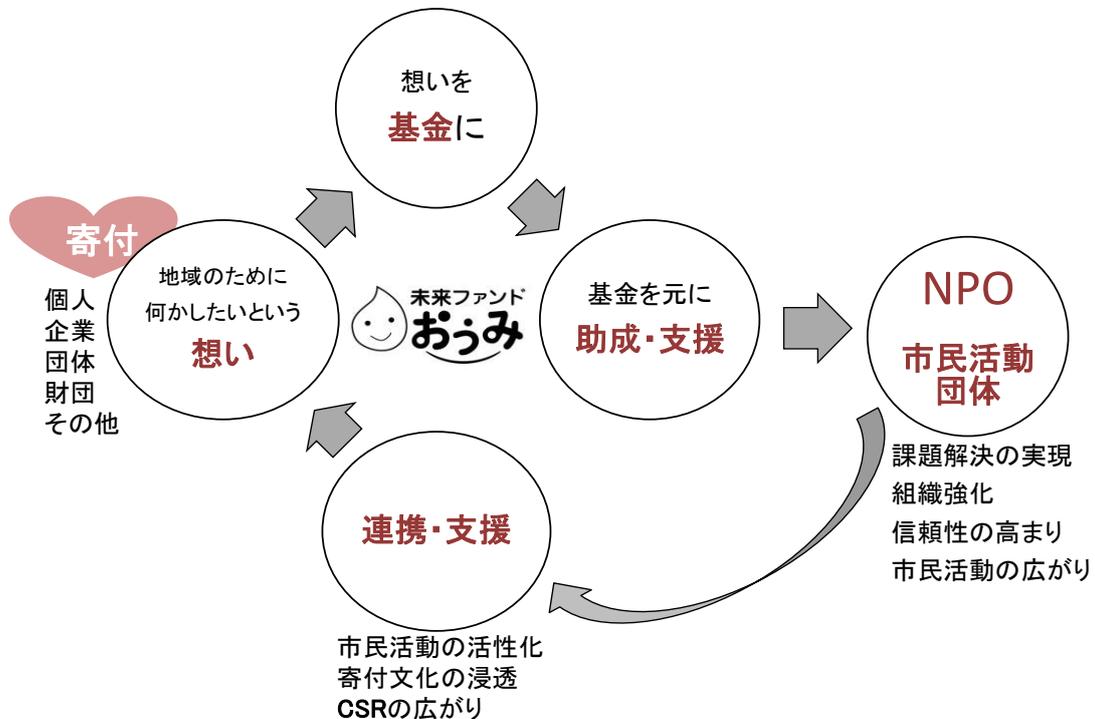
### NPO 法人

### 芸術村 IN 余呉実行委員会

「余呉まるごと里山芸術村」の活動は、2009年に開始され、今年で7年目になります。旧余呉地域とその周辺を、住むことに誇りをもてる持続可能で質の高い暮らしがおくれる地域となるように、住民参加のもとで芸術を核としたまちづくりをすすめています。

今年は、10/17～10/25までの9日間開催されます。住民が修理をして再生した旧余呉小学校をはじめ、余呉町内に点在するお寺や古民家などをまるごと展示会場として活用します。その他にも、ワークショップやイベント、オペラ上演、ステージ企画、地域の食材を使ったレストランなどが検討されています。

# 未来ファンドおうみの仕組み



## 寄付をするには？

- ◇ 個人、企業、団体、財団など、どなたでも寄付をしていただくことができます。
- ◇ 「未来ファンドおうみ」には、いろいろな基金の種類があります。応援したい基金を選んでください。
- ◇ 「未来ファンドおうみ」への寄付は、税制上の優遇措置の対象になります。

## 助成金を受けるには？

- ◇ 助成対象は、NPOや市民活動団体です。
- ◇ 通常、11月中旬から募集案内をします。
- ◇ 申請書類は、12月～1月中旬（予定）に提出していただきます。
- ◇ 助成団体採択の審査は「未来ファンドおうみ運営委員会」がおこないます。1次審査と2次審査があります。（基金によっては、1次審査だけのものもあります。）

## お問い合わせ先

淡海ネットワークセンター（公益財団法人 淡海文化振興財団）

〒520-0801 大津市におの浜 1-1-20（ピアザ淡海2F）

TEL：077-524-8440、FAX：077-524-8442、e-mail:office@ohmi-net.com